



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

靖国神社春季例大祭にて

首相・閣僚は参拝及び真榊奉納をしないでください

内閣総理大臣 岸田文雄様

私たち日本キリスト教協議会（NCC）靖国神社問題委員会は、靖国神社の春季・秋季例大祭毎に、首相及び閣僚らが真榊奉納を行い、また参拝するという「政教分離原則違反」を続けていることを深く憂慮し、毎回抗議を続けて来ました。

昨年より宗教と政治の関わりについて報道が続いています。日本国憲法では、第20条、第89条において政教分離が厳格に定められています。宗教を政治が利用する時、人権が蹂躪され、平和が破られることを歴史から学んだことにより定められた大切な原則です。

2021年2月24日に出された「那覇市孔子廟訴訟最高裁大法廷判決」においては、その宗教性が問われ、従来「社会通念」の名のもとに緩やかに解釈されがちであった「政教分離の原則」が厳密に適用され、「社会通念」の言葉をもってしても許容範囲を越えるものは違憲である、とされました。この司法が判断した事実は重いものです。

今年も4月21日（金）から23日（日）にかけて靖国神社では春季例大祭が行われます。首相及び閣僚が、今回も靖国神社へ参拝及び真榊奉納を行い、これをメディアにて公然と知らせるならば、日本政府と靖国神社が特別な関係にあることを国内外に広く宣伝するものとなります。政府を代表する首相らが行った行為を、「私的なもの」と主張したとしても、一連の行動は、「公的」な影響力を発揮するため、特定の宗教である靖国神社への関心を引き起こして援助する効果をもつと言わざるを得ません。

さらに、首相及び閣僚の立場にある者が、靖国神社の戦没者の「霊」に対して参拝し、また真榊を奉納することは、明確な宗教的行為であり、明らかに「政教分離の原則」に違反しています。

私たちは「政教分離原則」に反する行為が、新たな「英霊」をつくり出すことにつながることを深く憂慮します。

以上の理由から、私たち日本キリスト教協議会（NCC）靖国神社問題委員会は、首相及び閣僚が一宗教法人である靖国神社の例大祭に参拝及び真榊奉納をせず、憲法の定める政教分離原則を厳格に遵守するよう要請いたします。

2023年4月1日

日本キリスト教協議会（NCC）靖国神社問題委員会
委員長 星出卓也